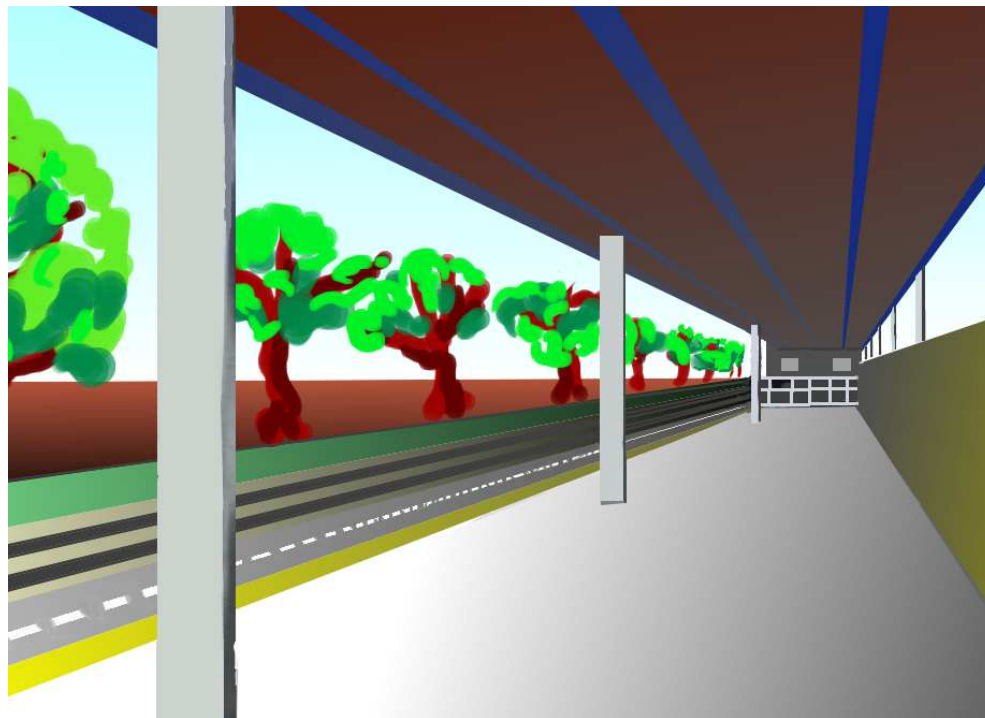


駅のホームにて



東郷 潤

電車の駅のホームに、笑顔の人が立っています。



さあ、この人は、何を笑っているのでしょうか？

むろん、他人の心は読めません。なので彼が何を笑っているのか、ちょっと想像してみましょう。

…さあ、どんなことを想像しますか？ どんな想像だって出来るんですよ。だって、これは**ただの想像**ですもの。



たとえば、宝くじに当たって笑っているとか…。 ね、想像するって、楽しいでしょう？

もちろん、嫌なことだって想像できるんですよ。・・・たとえばそうですね、あの人が笑顔なのは、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っているんだって、想像してみませんか。



少し、腹が立ちましたか？　もう少し想像を続けてみましょう。

あの人は、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…



あの人は、心の中で、あなたを馬鹿にして笑っている…







ね！

人には、想像力という、とてつもなく大きな能力があるんです。

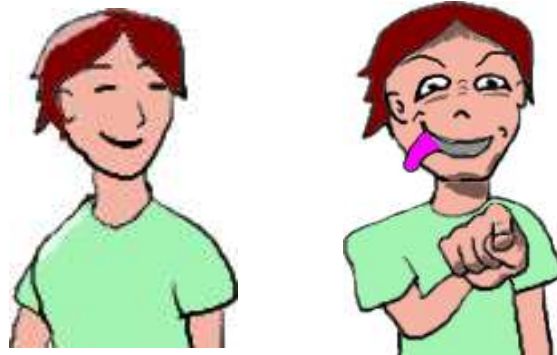
あなたも、ただ想像するだけで、

誰かを殺すほど怒ることが出来るんですよ。

だから、

想像と現実とは、ちゃんと区別してくださいね！

現実 →



← **想像**

あとがき 一絵本「駅のホームにて」

この絵本は、連作絵本「想像という現実」の1作目という位置づけで執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010